

第63回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

試合結果及び個人トータル表

女子	Dコート 第6試合 (第2回戦)						
日時	平成22年6月19日						
会場	熊本県立体育館						
対戦結果	チーム名	得点	16	—	17	得点	チーム名
	佐賀清和	61	11	—	19	74	福大若葉
			16	—	15		
			18	—	23		

チーム名						
佐賀清和						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	高柳 千絵	3			3	
5	中島 麻佑					
6	山下 小夏					
7	林 奈那					
8	田中 美紀	9		4	1	3
9	東島 菜美子					
10	中山 祐実	6		3		1
11	小淵 徳子	12		6		3
12	諸岡 美紀子	11		5	1	2
13	淵上 琴音					
14	福井 菜月	20		10		2
15	東島 瑠葵					
合計						

チーム名						
福大若葉						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	田中 由香	10	2	1	2	1
5	渡邊 亜弥	29	1	11	4	4
6	中迫 薫乃	1			1	2
7	成林 礼彩	8	2	1		2
8	百崎 千尋					
9	藤 紗織	6		3		2
10	熊本 有真					
11	平井 亜魅					
12	吉武 詩織					
13	末永 愛里					
14	松本 咲	16		8		2
15	西村 かおり	4		2		1
合計						

戦評

第1ピリオドはお互いハーフコートマンツーマンでスタートし佐賀清和は 小淵のカットイン 福井のインサイドからの攻撃、福大若葉は 渡辺のドライブ インサイドからのシュートなど同じような立ち上がりで互角の戦いで第一ピリオドを16 - 17で終える。第2ピリオドに入り佐賀清和はオフェンスリバウンドを頑張るものの小さなミスが目立ち始め福大若葉の 田中の連続3ポイントシュートと 渡辺のカットインなどで徐々に差を広げ始め前半を27 - 36と福大若葉のリードで折り返す。後半に入り佐賀清和は1対1からの得点をするが福大若葉の 渡辺が要所要所でスコアを重ね試合は大きく動かない。第4ピリオド追い上げたい佐賀清和だが疲れからかミスが多くなり佐賀清和 福井のシュートで粘りを見せるも福大若葉のディフェンスが最後まで佐賀清和を引き離した。特に福大若葉の 渡辺は大事なところで中外どこからでもスコアし29点をあげチームの勝利の原動力だった。

担当者(藤田)

第63回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

試合結果及び個人トータル表

女子	Cコート 第1試合 (1回戦)						
日時	平成22年6月19日						
会場	熊本市総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	11	—	17	得点	チーム名
	中村学園	93	17	—	24	73	糸満
			44	—	6		
			21	—	26		

チーム名						
中村学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	神崎 由香	10		5		2
5	白根 菜里	26	3	7	3	1
6	竹ヶ原 麻衣	2		1		1
7	石原 美幸	4		2		2
8	石川 朋実	5	1	1		
9	打越 裕梨	26		11	4	1
10	濱武 舞衣					
11	橋爪 伶奈					2
12	安間 志織	6		3		2
13	米倉 晴香	9	3			2
14	原 杏奈	2		1		1
15	谷村 里佳	3		1	1	2
合計		93	7	32	8	16

チーム名						
糸満						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	波平 明奈	7	1		4	2
5	大城 亜耶子	6	2			
6	多和田 綾奈	0				
7	山城 奈々海	0				
8	大城 愛美	0				
9	當山 シェリ-リ-	22		8	6	3
10	上原 杏菜	0		1		3
11	玉城 里菜	14		7		3
12	宮國 加楠江	0				
13	大城 梓	0				
14	諸見里 皐月	0				
15	仲間 暁星	22	5	3	1	
合計		71	8	19	11	11

戦評

第1Q 両チームともハーフコートのマンツーマンでスタート。ショットが決まらない中村に対し、糸満は確実に得点を重ねていき、11 - 17で糸満がリードして終わる。

第2Q 糸満の激しいディフェンスに対し、中村はターンオーバーがかさむ。糸満はその隙を逃さず #9 當山、#11 玉城が連続ゴールで得点を重ね、28 - 41と13点リードして前半を折り返す。

第3Q 中村は序盤からオールコートプレスを仕掛け相手のミスを誘う。中村は#9 打越が確実にインサイドで得点を重ね、#5 白根、#13 米倉が外角からショットを沈め開始5分で逆転に成功する。糸満も、少ないチャンスを生かし得点するも、中村の勢いは止まらず72 - 47と中村25点リードで終わる。

第4Q 糸満は#15 仲間、#11 玉城の連続得点で追い上げをはかるが、対する中村も確実にショットを決める。中村はそのまま逃げ切り、93 - 73で勝利を収めた。

担当者()

第63回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

試合結果及び個人トータル表

女子	Cコート 第2試合 (第1回戦)						
日時	平成22年6月19日						
会場	熊本県立体育館						
対戦結果	チーム名	得点	17	—	25	得点	チーム名
	中津北	75	25	—	12	69	鹿児島
			20	—	14		
			13	—	18		

チーム名						
中津北						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	七郎丸 恵	12	1	3	3	3
5	澁谷 茉莉子	0	0	0	0	0
6	川口 涼子	0	0	0	0	0
7	中島 智子	0	0	0	0	0
8	和間 茜	19	5	1	2	3
9	後藤 眞衣	0	0		0	
10	大和 英理奈	4	0	0	0	4
11	堀 紗矢香	0	0	0	0	0
12	中崎 沙耶	26	3	6	5	1
13	貞許 有希	14	4	1	0	0
14	清本 美優	0	0	0	0	0
15	中春 萌子	0	0	0	0	0
合計		75	13	11	10	11

チーム名						
鹿児島						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	野添 美香	24	0	9	6	2
5	帆西 智香	17	5	1	0	0
6	東瀬戸 里沙	9	0	4	1	3
7	小田原 千春	0	0	0	0	0
8	田中 舞	0	0	0	0	0
9	梶 歌織	0	0	0	0	0
10	阿久根 千尋	11	2	2	1	1
11	徳田 梨瑛乃	0	0	0	0	0
12	岩田 麻央	0	0	0	0	0
13	藤田 光子	2	0	1	0	1
14	有馬 清楓	0	0	0	0	0
15	上村 麗菜	6	0	3	0	2
合計		69	7	20	8	9

戦評

両チームマンツーマンでスタート。なかなかリズムにのれないままゲームが進んでいくが鹿児島東瀬戸のドライブ、野添のゴール下で得点する。中津北は和間の3Pで得点する。1Q 25 - 17 終了。2Qの出だしは鹿児島が2 - 3のゾーンでディフェンスからリズムを作り野添のバスケットカウント、阿久根のリバウンドシュートで得点する。リズムが悪い中津北はタイムアウトを取りその後和間の3P 中崎のジャンプシュート 貞許の3Pで反撃し、鹿児島タイムアウト後マンツーマンに切り替える。その後中津北 の連続得点で42 - 37で中津北が5点リードで2Q終了。3Q出だしから中津北 の連続得点で勢いにのるが、鹿児島も野添を軸に の得点するも11点差で中津北がリードする。4Q出だしから鹿児島も連続得点から同点に追いつくが残り30秒中津北の3Pがきまり3点差、鹿児島がシュート打つが外れて中津北がリバウンドを取り速攻 中崎のバスケットカウントで終了。75 - 69で中津北が勝利した。

担当者()

第63回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

試合結果及び個人トータル表

女子	Cコート 第3試合 (第1回戦)						
日時	平成22年6月19日						
会場	熊本県立体育館						
対戦結果	チーム名	得点	21	—	23	得点	チーム名
	宮崎商業	75	16	—	20	79	慶誠
			17	—	16		
			21	—	20		

チーム名						
宮崎商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	山本 麻理香	0				
5	諏訪 成美	21	2	5	5	5
6	久木山 千佳	15		6	3	4
7	林 亜季沙	2		1		5
8	榎木田 恵子	0				
9	林田 真実	6	2			2
10	原 知怜	0				
11	若松 美歩	0				
12	神之園 美咲	0				
13	時任 由依	26		10	6	3
14	藤崎 茉来	5		2	1	4
15	長倉 桃子	0				
合計		75	4	24	15	23

チーム名						
慶誠						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	田口 亜文	1			1	2
5	西村 由莉安	22	1	6	7	2
6	坂田 望	13	1	4	2	3
7	有働 千夏	3	1			
8	河原 風香	0				
9	古閑 千裕	0				
10	中溝 奈々	2			2	1
11	影井 瑛美	9		3	3	4
12	中村 理沙	15		3	9	
13	中村 十月	14		6	2	4
14	田中 加奈	0				
15	神崎 愛梨	0				
合計		79	3	22	26	16

戦評

第1Q 両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。宮崎商業は慶誠のファウルを誘い確実にフリースローで加点していく。慶誠も外角からのショットを確実に沈め21 - 23で慶誠リードで終了する。

第2Q 宮崎商業は#13時任がインサイドで確実にショットを決め追撃。一方慶誠も#6坂田のドライブインなどで追撃を許さず、37 - 43と慶誠が6点にリードを広げ前半を折り返す。

第3Q 宮崎商業は#5諏訪の3Pシュート、#13時任のゴール下シュートで2点差まで詰めるが、慶誠も#13中村のゴール下で応戦。残り5分に宮崎商業#7林がファウルアウトするも#13時任がリバウンドに貢献し差を5点差と縮め4Qを迎える。

第4Q 宮崎商業は#13時任の4連続ゴールで1点差まで詰め寄るも、ファウルトラブルからなかなかディフェンスでペースを掴むことができない。慶誠は#12中村がフリースローを確実に決め宮崎商業にリードを許さない。残り1分宮崎商業は#9林田の3Pが決まり追撃をみせるが、最後は4点差で慶誠が逃げ切った。

担当者()

第63回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

試合結果及び個人トータル表

女子	Cコート 第4試合 (第1回戦)						
日時	平成22年6月19日						
会場	熊本県立体育館						
対戦結果	チーム名	得点	22	—	14	得点	チーム名
	佐賀清和	83	24	—	12	55	大分商業
			22	—	15		
			15	—	14		

チーム名						
佐賀清和						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	高柳 千絵	7	1	2		
5	中島 麻佑					
6	山下 小夏					
7	林 奈那					
8	田中 美紀	17	1	5	4	
9	東島 菜美子					
10	中山 祐実	3	1			
11	小淵 徳子	26	2	10		
12	諸岡 美紀子	10		5		
13	淵上 琴音	3		1	1	
14	福井 菜月	14		7		
15	東島 瑠葵	3			3	
合計		83	5	30	8	0

チーム名						
大分商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	馬原 稔里					
5	阿南 翔子	2		1		
6	河津 里沙子					
7	長尾 夏音					
8	児玉 絵理					
9	永井 亜季					
10	高橋 恵	8		3	2	
11	下郡 綾佳	14	1	5	1	
12	熊谷 理紗子	14	1	5	1	
13	遠藤 三貴	7		1	5	
14	後藤 花梨	10	1	3	1	
15	松野 朱莉					
合計		55	3	18	10	0

戦評

両チームマンツーマンでスタートする。佐賀清和 小淵・福井のシュートで得点し勢いに乗るのに対して大分商業はシュートは打つもののかたさがみられ思うように得点が決まらないまま1Q終了14-22で清和がリード。2Q出だしから清和は 小淵を中心にリバウンドシュート・3P・ドライブ連続して得点していく。大分商業は2-3ゾーンに切り替えるが清和の勢いは止まらず、 小淵 の3P、確実に得点していく。大分商業はディフェンスから速攻 熊谷3P 後藤のドライブで反撃するが、26-46佐賀清和が20点のリードで前半が終了した。3Q大分商業は速い展開から 小淵 がシュートを決め反撃するが清和は 小淵 を中心に得点をあげていく。4Qに入るとシュート力で上回る清和が得点を重ねるのに対して、大分商業はシュートが入らず苦しい展開になり、結局28点差をつけた佐賀清和が初戦を制した。

担当者()

第63回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

試合結果及び個人トータル表

Dコート 第1試合 (第1回戦)							
日時	平成22年5月19日						
会場	熊本県立体育館						
対戦結果	チーム名	得点	18	—	25	得点	チーム名
	延岡	82	17	—	21	75	長崎西
			18	—	15		
			29	—	14		

チーム名						
延岡						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	四季 里穂子	26	4	6	2	3
5	大和 未央	8	2	1		1
6	池田 真弓	8		4		3
7	山田 真帆	7		1	5	2
8	門前 美紗子	3	1			2
9	米良 美里	0				
10	平田 朱	0				
11	川本 羅桜	2		1		2
12	長友 仁美	0				
13	高山 亜美	0				
14	赤木 沙衣	1			1	
15	山本 葉月	27	9			
合計		82	16	13	8	13

チーム名						
長崎西						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	福野 美樹	2		1		1
5	馬場 望	9	3			
6	川本 美咲	7		3	1	1
7	平田 彩乃	15	1	5	2	3
8	吉田 美咲	0				
9	鬼塚 麻梨子	0				
10	西村 美佳子	28	3	9	1	2
11	入江 みさき	0				1
12	吉川 結佳	6		3		1
13	山下 実咲	6		3		
14	山口 千尋	0				
15	林田 美里	2		1		2
合計		75	7	25	4	11

戦評

長崎西のシュートで試合が動き始める。延岡学園は厳しいディフェンスで長崎西に思うようなオフェンスをさせない。その中で長崎西、の3Pでゲームの流れをつかみ、のゴール下、の3Pで点を重ねる。延岡学園も3Pを決めるが、なかなか長崎西の勢いが止まらない。リズムを作りたい延岡学園は残り2'41でタイムアウト。しかし、点差は思うように縮まらない。2Qは、長崎西7点リードで始まる。長崎西3シュートを1Qの勢いのまま、3本連続でシュートを決める。延岡学園はの3Pで追撃を図る。延岡学園はディフェンスを厳しくしてディフェンスからリズムを作りたいが、長崎西は着実に点を重ね、差をさらに4点広げ前半終了。後半開始早々、長崎西はシュートの制裁を欠き、延岡学園が地割を点差を縮めにかかると。インサイドとアウトサイドのバランスの取れ始めた延岡学園に対して、1点差に詰め寄せられたところで長崎西がタイムアウト。オフェンスの修正を図るものの、延岡学園の勢いになかなかリズムを取り戻せない。それでも、長崎西の連続3Pで息を吹き返す。膠着状態が続き、3Q終了。3Qの終わりを引きずりながら、点差に大きな変化はあまり見られない。勝負どころと見た延岡学園残り5'30でタイムアウト。しかし、連続ミスで失点するが、3P、ドライブで追いつがる。延岡学園はボールマンにプレッシャーをかけミス誘い、残り2'10で追いつく。の連続ゴールで逆転。その後、の3Pで5点差とし、ボールコントロールしながら時間を使い、そのまま7点差をつけて逃げ切った。

担当者(金重)

第63回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

試合結果及び個人トータル表

女子	Dコート 第2試合 (第1試合)						
日時	平成22年6月19日						
会場	熊本県立体育館						
対戦結果	チーム名	得点	15	—	30	得点	チーム名
	佐賀北	45	7	—	26	103	大津
			10	—	29		
			13	—	18		

チーム名						
佐賀北						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	平山 千歩					3
5	青葉 沙樹					4
6	実松 夏穂	8		3	2	1
7	古川 柚季					1
8	藤瀬 春菜	4		2		
9	荒木 穂乃香	4		2		3
10	糸山 舞	6		2	2	2
11	北島 裕子					
12	松尾 若菜	5	1	1		1
13	江口 愛美	4		1	2	2
14	梅野 渚	14		7		
15	野田 知里					
合計		45	1	18	6	17

チーム名						
大津						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	落合 千里	9	1	1		4
5	大塚 優子	6	2			1
6	石坂 郁美	6		3		1
7	河野 怜美	7	2		1	2
8	村木 花奈	10		4	2	2
9	簀田 小百合	10		3	4	
10	田中 志保	6		2	2	
11	北浦 彩加	4		2		1
12	今村 和香葉					1
13	木庭 亜理沙	19		9	1	1
14	田元 亜希	16	3	3	1	
15	渡邊 彩乃	10	2	1	2	
合計		103	10	28	17	9

戦評

前半ゲーム序盤から大津の厳しいディフェンスと 簀田のインサイド 大塚の3ポイントシュートでリズムをつかむと、大津の厳しいオールコートのディフェンスで佐賀北はなかなかオフェンスのリズムをつかめない。逆に大津は厳しいディフェンスとスピードのあるオフェンスで徐々に佐賀北を引き離していき前半は22 - 56と大津リードで終了。後半に入っても大津は手を緩めることなくリードを広げ、佐賀北も 糸山のスピードのあるドライブインや 藤瀬を起点とした攻撃で何とかシュートまでは持っていくが得点を重ねることは出来ず、また早い段階でのファウルもかさみ思うようなゲームの展開が出来ない。また大津の 河野のスピードのあるボールコントロールから中外バランスの取れたゲーム運びで佐賀北 実松のドライブインなどで得点するものの終始大津のスピードに勝る試合運びで大津が佐賀北をリードする形でゲームを制した。大津はほぼ全員がスコアするなどバランスの取れたオフェンスと相手にオフェンスのリズムを取らせない厳しいディフェンスが非常に印象的だった。

担当者(藤田)

第63回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

試合結果及び個人トータル表

女子	Dコート 第3試合 (第1回戦)						
日時	平成22年6月19日						
会場	熊本県立体育館						
対戦結果	チーム名	得点	20	—	32	得点	チーム名
	純心	64	9	—	19	79	鹿児島純心
			17	—	12		
			18	—	16		

チーム名						
純心						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	天羽 菜月	12		5	2	2
5	原田 佳奈	12	2	2	2	1
6	浦川 愛菜	0				
7	中島 聖菜	4		2		1
8	土本 実旺	12		5	2	2
9	若杉 悠	0				
10	上戸 葵	16		7	2	
11	築地 葵	5		1	3	4
12	高島 亜未	0				
13	内野 仁美	0				
14	佐々木 紗香	3	1			1
15	成合 加奈子	0				
合計		64	3	22	11	11

チーム名						
鹿児島純心						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	吉見 亜佐子	0				
5	山中 溪衣	7	1	1	2	1
6	中山 好美	16		8		1
7	川畑 里奈	15	1	5	2	4
8	迫 あいか	7	1	2		1
9	内田 晶	0				
10	井上 千聡	5	1	1		
11	大山 由梨絵	10		4	2	4
12	前田 奈々	10		5		4
13	山崎 美香	7	1	2		1
14	新保 宏奈	2		1		
15	東 真里江	0				1
合計		79	5	29	6	17

戦評

両チームとも手堅いオフェンスで得点を重ね互角の展開でゲームが始まる。鹿児島純心の3Pで一步抜け出すと、の連続得点、のスティールで引き離す。純心残り3分でタイムアウト。それでも鹿児島純心の勢いは止まらない。12点差で1Q終了。1Qの勢いそのままゲームが展開。純心はミスの目立つ内容の悪さにタイムアウトをとり修正を試みる。鹿児島純心はオフェンスリバウンドを取り、セカンドチャンスの特典に結びつける。純心はシュートが苦し紛れになり、なかなか得点を挙げることが出来ない。中盤から両チームともシュートの精度が落ち、思うようにオフェンスのリズムを作れなかったが、リバウンドを支配していた鹿児島純心が得点を積み重ねた。後半、めまぐるしい展開の中、ミス減らした純心が追撃体勢に入り、徐々に点差をつめる。自信を取り戻した純心が、のインサイドを巧みに使い加点。残り3'30で鹿児島純心がタイムアウト。前がかりのディフェンスでこの悪い流れを変えようとする。これが功を奏し、連続得点。逆に純心がタイムアウトをとり、悪い雰囲気止めようとする。鹿児島純心は厳しいディフェンスで、相手の攻撃の芽を摘み、最後はのブザービーターを引き出した。4Q序盤は一進一退の攻防が続く。純心はディフェンスの厳しくし、相手のミス誘い活路を見出そうとするが、点差が思うように縮まらない。鹿児島純心は、ファールトラブルを抱えていたものの、マンマークを徹底し、相手に付け入る隙を与えない。鹿児島純心が前半のリードを生かし勝利した。

担当者(金重)

第63回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

試合結果及び個人トータル表

女子	Dコート 第4試合 (第1回戦)						
日時	平成22年6月19日						
会場	熊本県立体育館						
対戦結果	チーム名	得点	17	—	17	チーム名	得点
	福大若葉	67	17	—	10	57	那覇
			18	—	14		
			15	—	16		

チーム名						
福大若葉						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	田中 由香	21	6	1	1	3
5	渡邊 亜弥	26	6	4		
6	中迫 薫乃	5	1	1		
7	成林 礼彩	5	1	1		3
8	百崎 千尋					
9	藤 紗織		2			1
10	熊本 有真					
11	平井 亜魅					
12	吉武 詩織					
13	未永 愛里					
14	松本 咲	8		4		4
15	西村 かおり					
合計		67	16	11	1	11

チーム名						
那覇						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	金城 夏子					2
5	上原 安奈					
6	宜保 沙也佳	11	1	4		3
7	山田 千尋	2		1		
8	下地 亜侑美					
9	島袋 茉里	10		5		1
10	大城 郁佳琳	25		11	3	1
11	渡慶次 由梨					
12	中本 恵里加					
13	松堂 亜月					
14	松村 ひらり	7	1	2		2
15	高橋 陽子	2		1		1
合計		57	2	24	3	10

戦評

試合序盤は那覇のミスがやや目立つ立ち上がりには比べ、福大若葉はすばやいボール回しから田中の3ポイントシュートなどで得点を重ねリードするが、那覇がディフェンスを建て直し大城のインサイドプレーで持ち直し第1ピリオドは17 - 17の同点。第2ピリオドに入り那覇の厳しいディフェンスに対し中にボールの入らない福大若葉は3ポイントシュートが決まらず我慢の時間が続くが渡辺の3ポイントシュート、田中のインターセプトからの2ポイントで徐々に離していくが那覇大城のインサイドプレーなどもあり前半は福大若葉のややリードで終わる。後半第3ピリオド那覇金城の素早いドライブからインサイドに合わせるプレーで少しずつ詰め寄ってくるが福大若葉田中渡辺の3ポイントシュートで再び引き離す。第4ピリオドに入り那覇はゾーンディフェンス、オールコートディフェンス、オフェンスでは島袋大城のパワープレーで何とか追いつこうとするが福大若葉渡辺の3ポイントシュートなどで那覇が追いつくことが出来ず福大若葉が勝利を収めた。福大若葉はシュートが入らず苦しい時間帯もあったが田中渡辺が3ポイントシュートをあわせて12本決めており要所所で決まるそのシュートは大変印象的であった。

担当者(藤田)

第63回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

試合結果及び個人トータル表

対戦結果	チーム名	得点	$\left(\begin{array}{ccc} 27 & \text{—} & 7 \\ 22 & \text{—} & 5 \\ 24 & \text{—} & 20 \\ 19 & \text{—} & 13 \end{array} \right)$	得点	チーム名
	中村学園女子	92		45	延岡学園

チーム名						
中村学園女子						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	神崎 由香	0	0	0	0	0
5	白根 菜里	16	2	5	0	0
6	竹ヶ原 麻衣	5	0	2	1	1
7	石原 美幸	0	0	0	0	0
8	石川 朋実	3	1	0	0	0
9	打越 裕梨	17	0	8	1	4
10	濱武 舞衣	7	0	2	3	1
11	橋爪 伶奈	14	0	5	4	1
12	安間 志織	8	0	2	4	0
13	米倉 晴香	9	1	3	0	1
14	原 杏奈	5	1	1	0	0
15	谷村 里佳	8	0	4	0	1
合計		92	5	32	13	9

チーム名						
延岡学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	四季 里穂子	9	1	3	0	1
5	大和 未央	12	2	2	2	3
6	池田 真弓	3	0	1	1	2
7	山田 真帆	0	0	0	0	0
8	門前 美紗子	2	0	1	0	2
9	米良 美里	2	0	1	0	0
10	平田 朱	0	0	0	0	0
11	川本 羅桜	2	0	1	0	0
12	長友 仁美	0	0	0	0	0
13	高山 亜美	0	0	0	0	0
14	赤木 沙衣	4	0	2	0	4
15	山本 葉月	11	1	2	4	0
合計		45	4	13	7	12

戦評

両チームともハーフマンツーマンでスタート。開始3分両チームともなかなか自分たちのリズムがつかめずミスが続いた。中村学園のゴール下に確実に集めて 打越と 谷村で点を重ねていくのに対し、延岡学園は 四季と 大和を中心にドライブで切れ込んでいくが 打越と 谷村のブロックに合い、なかなか点が取れず1Q 27 - 7と開く。2Qは出だしより中村学園 安間からの速攻から着実に点を取っていく。延岡学園は 四季と 大和を中心に3P・ミドルシュートと外からのシュートに切り替え点を取るうと試みるが、なかなか決まらずリバウンドも中村学園に支配されてしまう。前半残り5分延岡学園が3 - 2ゾーンに切り替え応戦をはかる。しかし、中村学園 白根の3Pを中心に外角・速攻、ドライブ、ゴール下と多彩にゾーンを切り崩し、前半 52 - 12で終了。後半中村学園ハーフマンツーマン、延岡学園3 - 2ゾーンでスタート。中村学園の後半開始早々 安間の3P、打越の3連続ゴールで一気に引き離しをかける。延岡学園はそれに対し 四季と 大和と 山本中心にドライブを仕掛けるが点差は縮まらない。3Q残り4分オールコートゾーンプレスを仕掛け混乱を誘う。3Q 73 - 32で終了。4Qも延岡学園はゾーンプレスで仕掛けるが中村学園の高さによるリバウンドの強さと安定したシュート力に92 - 45で中村学園が勝ち取った。

担当者(前田)

第63回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

試合結果及び個人トータル表

女子	Cコート 第6試合 (第2回戦)						
日時	平成22年6月19日						
会場	熊本県立体育館						
対戦結果	チーム名	得点	24	—	16	得点	チーム名
	慶誠	81	14	—	12	65	鹿児島純心
			20	—	15		
			23	—	22		

チーム名						
慶誠						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	田口 亜文	13		5	3	
5	西村 由莉安	12		6		2
6	坂田 望	12		6		1
7	有働 千夏	0				
8	河原 風香	0				
9	古閑 千裕	0				
10	中溝 奈々	5		2	1	1
11	影井 瑛美	13		4	5	2
12	中村 理沙	6		2	2	4
13	中村 十月	12		5	2	3
14	田中 加奈	4		2		1
15	神崎 愛梨	4		1	2	1
合計		81	0	33	15	15

チーム名						
鹿児島純心						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	吉見 亜佐子	0				
5	山中 溪衣	6	2			3
6	中山 好美	12		4	4	5
7	川畑 里奈	7		3	1	5
8	迫 あいか	10	2	2		2
9	内田 晶	2		1		2
10	井上 千聡	0				
11	大山 由梨絵	9		3	3	3
12	前田 奈々	17	1	5	4	2
13	山崎 美香	0				1
14	新保 宏奈	2		1		1
15	東 真里江	0				
合計		65	5	19	12	24

戦評

慶誠 のシュートで先制。相手のミスから速攻を仕掛け、得点を重ねる。鹿児島純心はアウトサイドのシュートに正確さを欠くが、厳しいディフェンスで離されない。中盤両チームともミスが目立ち得点が止まる。シュートにいくまでのディフェンスがともに機能し、簡単にシュートを打たせていない。鹿児島純心は、少しずつだがリズムを掴み始めるが、連続得点は難しく。リバウンド力のある慶誠が点差をじわりと広げにかかる。慶誠もミスが多く、決定打が打てないまま1Qが終了。2Q序盤両チームとも決め手がないままゲームが進む。鹿児島純心は2 - 3のゾーンに変更し相手のリバウンドを封じ込めにかかる。オフェンスは、なかなかシュートの精度があがらない。慶誠も速攻を仕掛けるが、相手も戻りも速く決定的なチャンスを作れないまま、ほぼ互角で2Q終了。慶誠はプレスディフェンス、鹿児島純心はマンツーマンに戻して後半スタート。ミスが多い中、少しずつではあるが慶誠が我慢しつつ加点していく。15点差がついたところで鹿児島純心がタイムアウト。しかし、流れを作るまでには至らない。4Qで鹿児島純心は大きめの2 - 1 - 2ゾーンでトラップをかけるが、さほどの効果は見られない。残り3分を切ったところで鹿児島純心はオールコートマンツーマンに変え、相手のミスを誘い、2本取り返すが、続かずそのままゲームセット。

担当者(金重 雅彦)

第63回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

試合結果及び個人トータル表

女子	Dコート 第5試合 (第2回戦)						
日時	平成22年6月19日						
会場	熊本県立体育館						
対戦結果	チーム名	得点	3	—	21	得点	チーム名
	中津北	34	11	—	24	100	大津
			16	—	18		
			4	—	37		

チーム名						
中津北						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	七郎丸 恵	8		3	2	3
5	澁谷 茉莉子	0				
6	川口 涼子	0				
7	中島 智子	0				1
8	和間 茜	3	1			4
9	後藤 眞衣	0				
10	大和 英理奈	13		5	3	1
11	堀 紗矢香	0				2
12	中崎 沙耶	7	1	1	2	3
13	貞許 有希	2		1		2
14	清本 美優	1			1	1
15	中春 萌子	0				
合計		34	2	10	8	17

チーム名						
大津						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	落合 千里	6		3		1
5	大塚 優子	18	4	3		1
6	石坂 郁美	7		3	1	3
7	河野 怜美	0				
8	村木 花奈	4		2		3
9	養田 小百合	6		3		2
10	田中 志保	7	1	2		1
11	北浦 彩加	1			1	
12	今村 和香葉	6		3		2
13	木庭 亜理沙	10		5		3
14	田元 亜希	25	3	8		2
15	渡邊 彩乃	10	3		1	1
合計		100	11	32	3	19

戦評

お互いミスで始まったが、大津が果敢に攻めて先制する。大津のディフェンスが中津北のシュートを簡単に打たせないまま、7点差がついたところで中津北タイムアウト。中津北の堅実にディフェンスはするものの得点に結びつかない。インサイドで仕掛けるものの効果的なものとはならない。大津のディフェンスが光る。シュートの制度は両チームともあまりよくなかったが、リバウンドの支配率の差がでた1Qだった。厳しいディフェンスの前にオフェンスをさせてもらえない中津北。あわてずシュートを決める大津に対して、なかなか決め手のみつからない中津北。シュートもやや単発気味になりがちで、逆に速攻・アーリーオフェンスを仕掛けられる結果となる。中津北のいいところが出ないまま前半終了。中津北 が厳しいディフェンスをかいくり得点。ディフェンスも大津に負けじと厳しく当たりシュートを簡単には打たせない。しかし、大津は相手のミスから確実に得点を重ねていくが、このQはほぼ互角に渡り合った。最後まで気を抜かないディフェンスでリズムを作り、オフェンスにつなげていく。終始大津のペースで試合が流れていった。

担当者()